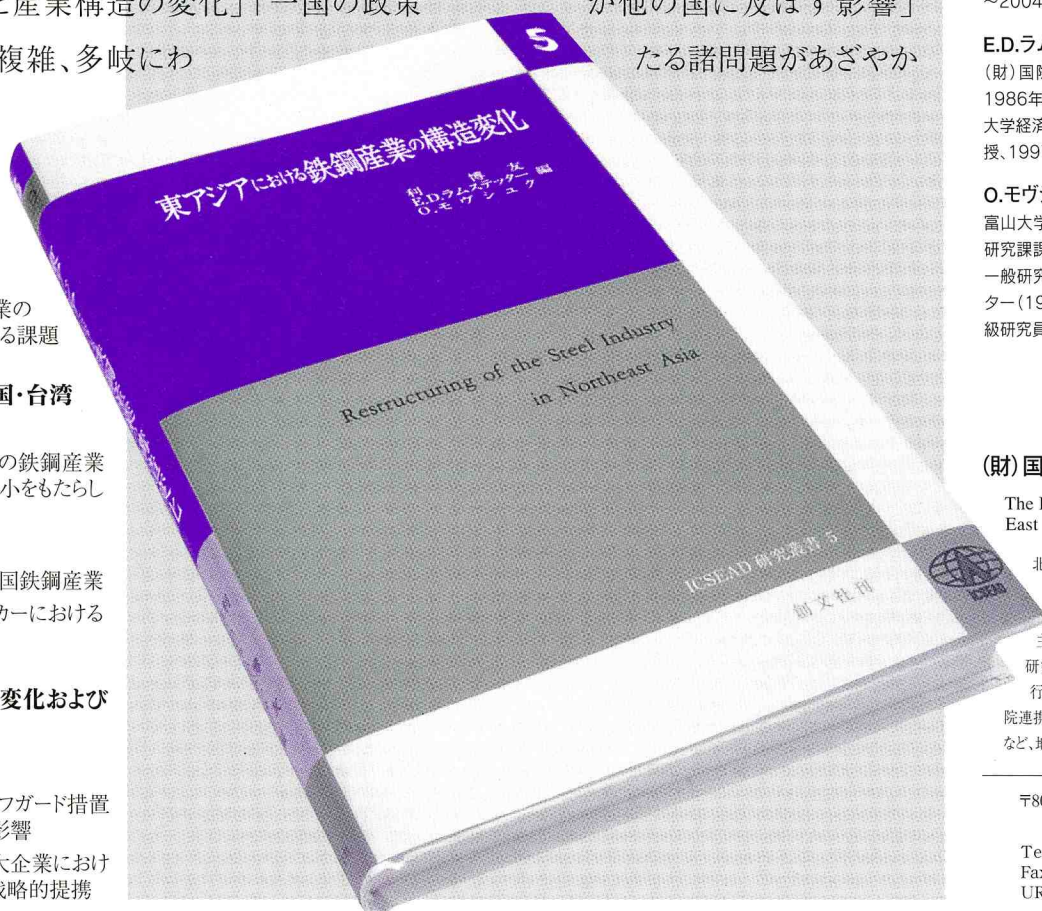


東アジアにおける鉄鋼産業の構造変化

Restructuring of the Steel Industry in Northeast Asia

利 博友 E.D.ラムステッター O.モヴシュク 編

1990年代、東アジア(日本・韓国・台湾・中国)の鉄鋼産業は構造改革をとまなう大きな変化の波に洗われた。本書は一日本人の視点でなく、グローバルな観点からこの一大変革の分析に取り組んだ気鋭の外国人研究者の論考8編よりなる。「各国政府の政策とその経済効果」「民営化・戦略的提携と産業構造の変化」「一国の政策が他の国に及ぼす影響」「ダンピング」など、複雑、多岐にわたる諸問題があざやかに別決される。



第I部 序論

第1章 東アジア鉄鋼産業の構造変化に関する課題

第II部 日本・中国・韓国・台湾の鉄鋼産業

- 第2章 1990年代の日本の鉄鋼産業に大幅な生産縮小をもたらした要因
- 第3章 中国の鉄鋼産業
- 第4章 金融危機後の韓国鉄鋼産業
- 第5章 台湾の鉄鋼メーカーにおける効率性の評価

第III部 貿易政策、構造変化および戦略的提携

- 第6章 鉄鋼貿易
- 第7章 米国の鉄鋼セーフガード措置と東アジアへの影響
- 第8章 東アジアの鉄鋼大企業におけるリストラおよび戦略的提携

編者

利博友 (Hiro Lee) :

大阪大学大学院教授。1988年カリフォルニア大学アーバイン校助教授、1996年名古屋大学大学院助教授、1999年神戸大学助教授を経て、(財)国際東アジア研究センター主席研究員(2001~2004)、神戸大学教授(2004~2006)

E.D.ラムステッター (Eric D. Ramstetter) :

(財)国際東アジア研究センター主席研究員。1986年イーストウエストセンター研究員、関西大学経済学部(1988~専任教師、1990~助教授、1997~1998教授)

O.モヴシュク (Oleksandr Movshuk) :

富山大学准教授。1992年(株)キント証券調査部研究課課長、1995年(財)環日本海経済研究所一般研究員を経て、(財)国際東アジア研究センター(1999~客員研究員、2000~2004 上級研究員)

(財)国際東アジア研究センター

The International Centre for the Study of East Asian Development (略称:ICSEAD)

北九州市が中心となり、経済界等の協賛を得て、米国ペンシルベニア大学との協同研究施設として平成元年(1989)9月に設立された。主に、東アジア地域の経済・社会問題の調査研究と、アジア諸国並びに欧米との学術交流を行ってきた。また、北九州市立大学等との大学院連携講座や市民向けの「アジア講座」を開催するなど、地域社会との交流を続けている。

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4
北九州市大手町ビル

Tel:093-583-6202
Fax:093-583-6576
URL:http://www.icsead.or.jp/

創文社刊 A5判・上製本…………… 定価4,725円(税込)

(財)国際東アジア研究センター賛助会員は特別価格3,000円(税込)で販売

■ご購入ご希望の方は(財)国際東アジア研究センターへTEL、FAXまたはE-mailでご注文ください。

TEL:093-583-6202 FAX:093-583-6576 E-mail:sanada@icsead.or.jp 担当:真田、寺中

(ふりがな) ご芳名	冊数	ご住所(ご所属・役職名)	連絡先電話番号	賛助会員番号
()	冊	〒	() -	
()	冊	〒	() -	